

【SRA Holdings】Special Mail (No.93) 2013年8月

(株)SRAホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、平成26年3月期 第1四半期決算を発表しました。今回の発表の要点は下記のとおりです。

詳細は、発表資料をご覧ください。 <発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir>

なお、「決算付属資料」、「平成25年7月 月次売上高速報」につきましても併せて発表しました。

[平成26年3月期 第1四半期業績(連結)]

■売上高＝増加 [開発事業:横ばい、運用・構築事業:微増、販売事業:大幅に増加]

■利益＝「営業利益」:減少、「経常利益」:増加、「四半期純損失」を計上

◎売上高:76億28百万円(前年同期比3億46百万円増/4.8%増)

主な要因:

- ・開発事業(0.2%増)＝電力が減少したものの銀行・証券・損保向けが増加
- ・運用・構築事業(2.4%増)＝大学関連が微減となったが、企業向けが増加
- ・販売事業(11.6%増)＝(株)AIT:金融分野を中心に好調であったため増加

◎営業利益:2億46百万円(前年同期比88百万円減/26.4%減) 営業利益率:3.2%(前年同期4.6%)

主な要因:粗利益の減少等

◎経常利益:4億34百万円(前年同期比57百万円増/15.3%増) 経常利益率:5.7%(前年同期5.2%)

主な要因:為替差益等

◎四半期純利益:5億72百万円の四半期純損失を計上(前年同期比7億62百万円減)

主な要因:投資有価証券評価損を特別損失に計上

「投資有価証券評価損」の計上につきましては、平成25年8月5日に情報開示しておりますが、再度、ここにご説明いたします。

■投資有価証券評価損の計上理由

- ・SRAグループが事業投資を行っている株式会社SJI(以下「SJI」)は、海外連結子会社の監査遅延により、平成25年3月期有価証券報告書の提出が法定期限に間に合わない見込みとなり、大阪証券取引所(東京証券取引所に統合)から平成25年6月27日に監理銘柄(確認中)指定を受けました。
- ・その結果、SJIの株価が下落し、当社は投資有価証券の評価損を特別損失として計上することになりました。

■SJI株式の今後

- ・SJIは、平成25年8月1日に平成25年3月期有価証券報告書を提出し、翌日2日に監理銘柄(確認中)の指定は【解除】されました。
- ・監理銘柄の指定が解除されることにより、一般的には、株価の回復が見込まれます。

当社は四半期における投資有価証券の減損処理について洗い替え方式を採用しているため、SJI株式の株価の回復状況によっては、期中または期末において、洗い替えにより、今回の投資有価証券評価損の計上額が減額、または計上しなくなる場合があります。

■SJIに対する当社の今後の対応・支援

・SJIにおいては、今後、株主総会の継続会の継続会開催や平成 26 年3月期 第1四半期報告書の提出等、様々な動きがあります。これらの事実確認を十分に行なったうえで、当社の企業価値および株主価値向上を目的に、SJIへの対応・支援を検討してまいります。

[平成25年7月 月次売上高]

(株)SRA＝金融部門が増加

(株)AIT、海外子会社＝計画通りに進捗

国内子会社＝堅調に推移

<発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/news/ir-news201307.pdf>

今後も“良い情報はもとより、悪い情報もいち早く公開する”という当社の情報開示のスタンスに変わりはありません。皆さまには引き続き、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。